

令和3年度

学生によるオレンジリボン運動

鈴鹿医療科学大学 実施報告書



実施主体 佐脇ゼミ 3年生・医療福祉学科 2年生

実施内容 令和3年11月～令和4年1月の間における啓発活動

①事前に取り組んだ内容

- ・ 児童虐待防止法について理解する。
- ・ 児童虐待に関する現状や課題について調べる。
- ・ オレンジリボン運動の歴史や運動の趣旨について理解する。
- ・ 各大学におけるこれまでのオレンジリボン運動の取り組みを調べる。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・ 子ども虐待防止啓発のポスターを作成し、掲示・配布する。
- ・ オレンジリボンを作成し、配布する。
- ・ 児童虐待やオレンジリボン運動に関するアンケート調査を実施する。
- ・ 図書館において児童虐待に関するコーナー展示（本、啓発活動のポスターを掲示）を設置する。
- ・ 学園祭でオレンジリボン運動の取り組みについて伝える。
- ・ 学内広報誌で児童虐待の現状やオレンジリボン運動の取り組みについての記事を書く。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

今回は、佐脇ゼミの3年生が中心となり、学内の学生に向けて啓発活動を実施した。啓発活動を行うことで児童虐待の現状やオレンジリボン運動のことを多くの人に知ってもらうことができ、多くの学生が関心を持ってくれた。啓発活動を進める中で、ゼミ生以外の学生も一緒にオレンジリボン運動に取り組みたいと声をあげてくれ、途中からは学年を超えて一緒に取り組むことができた。新型コロナウイルス感染症の影響で学外の人に向けた啓発活動ができなかったが、この活動を通して、児童虐待が一件でも少なくなるように、今後もオレンジリボン運動を続けていきたいと思う。

写真

